

裾野長泉斎苑

れいほう おか
麗峰の丘

竣工式



令和3年6月28日(月) 午前10時
裾野市長泉町衛生施設組合

施設概要

位 置	静岡県裾野市今里 3 4 3-1
敷 地 面 積	1 7, 2 2 2. 5 5 m ²
都市計画区域	市街化調整区域
用 途	火葬場
構 造 規 模	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上 2 階建（2 階部分は機械室等）
建 蔽 率	1 6. 9 8 %
床 面 積	火葬施設本体：2, 865. 17m ² ※1 階：2, 359. 95m ² 、2 階：198. 39m ² 車寄せ庇：308. 83m ² 、外部ごみ庫：8. 45m ² 合計：2, 873. 62m ²
容 積 率	1 6. 3 6 %
火 葬 炉 数	人体炉 4 炉+将来増設炉 1 炉（予定）
排 気 方 式	2 炉 1 排気系統 ※将来増設炉は 1 炉 1 排気系統
排ガス冷却設備	熱交換冷却式
火 葬 炉 燃 料	都市ガス、LP ガス併用 ※平常時：都市ガス 3 炉、LP ガス 1 炉、災害時：4 炉燃料の二重化
発 電 機	容量：2 2 0 KVA、燃料：軽油、タンク容量：3 9 0 L
受 水 槽	有効容量：6. 5 m ³
浄 化 槽	処理方式：生物膜ろ過方式、処理対象人員：1 4 0 人
駐 車 場	約 5 0 台 ※全面使用開始時（1 2 月）には約 1 0 0 台となる。

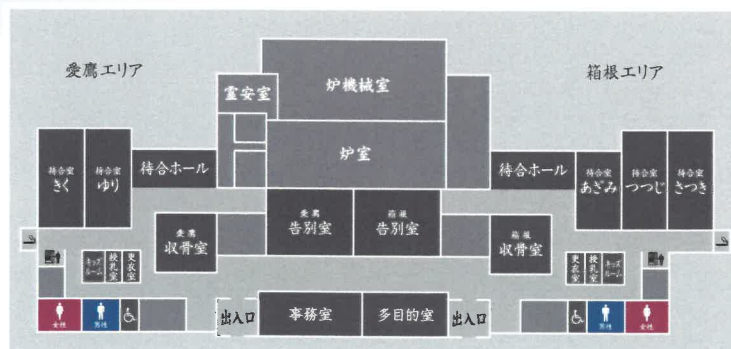
諸室概要

告 別 室	愛鷹エリア 1 室、箱根エリア 1 室 ※各 5 0 ~ 7 0 人利用可 ※直葬など最期のお別れの場としても利用可能。
収 骨 室	愛鷹エリア 1 室、箱根エリア 1 室 ※各 5 0 ~ 7 0 人利用可 ※収骨準備室も併設。
待 合 室	愛鷹エリア 2 室（5 4 人×2）、箱根エリア 2 室（5 4 人×2）+ 1 室（3 6 人） ※大人数の利用に対応するため室を跨る利用も可。
多 目 的 室	1 室 ※会議室としての利用や直葬などの最期のお別れの場としても利用可。なお宿泊を伴う利用は不可。
その他の諸室	待合ホール、キッズルーム、授乳室、更衣室 等 ※愛鷹エリア各 1 室、箱根エリア各 1 室。

※直葬とは、通夜、告別式等の儀式は行わず、自宅または病院から直接火葬施設にご遺体を運び火葬する方式をいう

火葬時間（1日最大 8 件）

- 9 時
- 1 0 時
- 1 1 時
- 1 2 時（2 件）
- 1 3 時
- 1 4 時
- 1 5 時



特長

- ①外観正面のデザインは、最期のお別れの場にふさわしい佇まいとなるよう、シンメトリー（左右対称）を強調し、美しさを誇る富士山にふさわしい形としました。
- ②外装仕上げは、火葬施設にふさわしい落ち着いた色調の仕上げとするとともに、耐久性、メンテナンス性、経済性を考慮した合理的な材料を選定しました。
 - ・正面の出入口部の外壁：黒暗褐色タイル
 - ・正面のその他の外壁：コンクリート杉小幅板打ち放し
 - ・車寄せ庇の軒天井：木目調塗装金属パネル
- ③場内を左右に分け、各エリアに出入口を設けることで場内の混雑を緩和し、火葬件数が少ない場合は、片側のみでの運営を可能とし、維持費や運営費の抑制を図ることとしました。
- ④地形に合わせて左側を「愛鷹エリア」、右側を「箱根エリア」としました。
- ⑤一連の儀式動線を回遊型の動線としており、他葬家と交錯しない動線とすることで厳粛な儀式を可能としました。



告别室

壁や床に花崗岩を使用し、火葬炉化粧扉上部のハイサイドライトから自然光を取り入れることで、故人の尊厳を守る厳粛な雰囲気を演出しました。



取骨室

木調の船底天井に包まれた落ち着いた空間としました。入室して正面の壁は、石調タイルとし、故人への尊厳を表現しました。



待合室

天井・床・腰壁に木調材料を使用した温かみのある空間としました。腰壁はメラミン化粧板とし、床はビニル床タイルとすることで清掃性にも配慮しました。



待合ホール

天井に木調材料、床にタイルカーペットを使用し、快適に過ごせる落ち着いた空間とし、窓越しから登庭の上部に富士山を眺めることができる大きな窓を設けました。

事業費

工事費	1,751,736,800 円
建築物	1,105,500,000 円
機械設備	294,800,000 円
電気設備	192,500,000 円
火葬炉設備	158,936,800 円
施工監理等	37,444,000 円
家具備品等	38,435,870 円
合計	1,827,616,670 円

※一部供用開始時点（令和3年6月末日）

事業経過

平成28年	3月	裾野長泉新斎場整備基本調査
平成29年	4月	新火葬施設の建設に関する事務を裾野市長泉町衛生施設組合に追加
平成29年	7月	都市計画決定
平成30年	3月	火葬炉設備業者を決定（プロポーザル）
平成30年	4月	新火葬施設整備基本計画公表
平成31年	3月	基本設計・実施設計策定
令和元年	10月	安全祈願祭、工事着手
令和3年	3月	新火葬施設名称決定
令和3年	3月	電気設備工事、機械設備工事、火葬炉設備工事完成
令和3年	5月	建築物工事一部完成
令和3年	7月	一部供用開始
令和3年	12月	全面供用開始予定

